

一步一步完全なる人間に



発行所

京都市左京区
吉田神楽岡町3

世界教世教黎明教会

郵便番号606-8311
電話075(771)2023番

常識

抑々、真の信仰とは言語行動が常識に外れない事を主眼としなければならない。世間よくある神憑式や、奇怪な言説、奇矯な行動等を標榜する信仰は先ず警戒を要すべきである。処が多くの人にはそういう信仰を反って有難く思う傾向があるが、之等は霊的知識の無い為で無理もないが、心すべきである。又自己の団体以外の人々と親しめないというような独善的信仰も不可である。真の信仰とは世界人類を救うのが宗教の使命と信じ、自己の集団のみにこだわらず、排他的行動をとらないようにするのが本当である。恰度一国の利益のみを考へ他国の利益を無視する結果、惨憺たる敗戦の苦杯を嘗める事になった終戦前の日本を鑑みれば判るであろう。

私は信仰の味に就て世人に告げたいのである。天下何物にも味の無いものはない。物質にも、人間にも、生活にも、味の無い物は殆んどあるまい。人生から此味を除いたら、文字通り無味乾燥全く生の意欲はなくなるであろう。従て人間が生に対する執着の根本は、味による楽しみの為である——といつても過言ではあるまい。信仰にも味のある信仰と味の無い信仰とがあるのは当然である。処が世の中は不思議なもので、恐怖信仰というのがある。それは神仏を畏怖し、戒律に縛られ、窮屈極まるを送り、自由などは全く無く、常に戦々兢兢たる有様で、斯ういう状態を私は信仰地獄というのである。

明主様の御教え



明主様御真筆 日月地

私は信仰の味に就て世人に告げたいのである。天下何物にも味の無いものはない。物質にも、人間にも、生活にも、味の無い物は殆んどあるまい。人生から此味を除いたら、文字通り無味乾燥全く生の意欲はなくなるであろう。従て人間が生に対する執着の根本は、味による楽しみの為である——といつても過言ではあるまい。信仰にも味のある信仰と味の無い信仰とがあるのは当然である。処が世の中は不思議なもので、恐怖信仰というのがある。それは神仏を畏怖し、戒律に縛られ、窮屈極まるを送り、自由などは全く無く、常に戦々兢兢たる有様で、斯ういう状態を私は信仰地獄というのである。

各面の内容

- 1〜3面 初代会長先生 御教えの研鑽
- 3面 御昇天祭
- 4面 教会記念祭
- 5面 小中学生勉強会・卒業生を送る会
- 6〜7面 お蔭ご奉告 笹室正美様
- 7〜8面 お蔭ご奉告 小林栄穂様

信仰の醍醐味

を作る事であると思う。勿論世の中に完全という事は望み得べくもないが、少なくとも完全に一歩々々近づかんとする修養——之が正しい信仰の態度である。故に信仰に、徹すれば徹する程平凡々たる普通人の如く見えなくてはならない。そうなる

のは信仰を咀嚼し、消化して了ったからである。その人の言動が如何にも常識的であり、万人に好感を与え、何を信仰しているか判らない位にならなければ本当ではない。人に接するや軟かき春風に吹かれる如くで、謙譲に富み親切であり、他人の幸福と社会福祉の増進を冀うようであって、はならない。私は常に言う事であるが、先ず自己が幸福者たらんとするには他人を幸福にする事で、それによって与えらるる神の賜が真の幸福である。然るに自己のみの幸福を欲し他人を犠牲にするというのが如きは全く逆効果以外の何物でもない事を知るべきである。(信五)

本来信仰の理想とする処は常に安心の境地に在り、生活を楽しみ、歓喜に浸るというのでなければならぬ。花鳥風月

も、百鳥の声も、山水の美も、悉神が自分を慰めて下さるものであるように思われ、衣食住も深き恵みと感謝され、人間は固より鳥獣虫魚草木の末に到るまで親しみを感ずるようになる。之が法悦の境地であつて何事も人事を尽して後は神仏に御任せするという心境にならなければならぬのである。

私は常に、どうしても判断がつかぬ難問に達着した時、観音様に御任せするといふ事にして、後は時を待つのである。処が思ったよりも良い結果を得らるる事は幾多の体験によつて明かである。殆んど心配したような結果になつた事は一度も無いといつても可い。又種々の希望を描くが、その希望よりも必ず以上の結果になるから面白い。斯ういう事も有る。何か悪い事があるとそれを一時は心配するが、きつと良い事の前提に違いないと思ひ、神様に御委せしていると、必ず良い事の為の悪い事であつた事が判り、心配したのが馬鹿らしくなる事さえ往々あるので、実に感謝に堪えない事がある。要するに私は奇蹟の生活者と思つてゐる。私が言う信仰の醍醐味とは即ち此様な次第である。(信一五)

真の信仰の在り方を説く

神様は世界の 全ての人々を 救って下さる

日々の在り方、人間としての在り方の一番基本的なことをお説き下さつた御神書でございまして、明主様は当時、信仰の小学校程度の教科書なんだといふことを仰られたことがございまして。しかし、内容は大変深い、高いことをお説き下さつてゐるわけでございまして、この中にお説き下さつたことを本當に少しづつ、私共が身に付けさせていたければ、それだけで大変立派な人間にならせていただけることをお説き頂いてゐるわけでございまして。私共人間としての在り方、また真の信仰の在

以下2面に続く

初代会長

多田 光行

今日は『常識』(信五)と『信仰の醍醐味』(信一五)の御教えを拝読させて頂いたかと思ひます。これは明主様が比較的、私共の身近なことをお説き下さつた御教えの一つでございませう。非常に身近なことでございますけれども、しかし非常に深いわけでございまして。この『常識』と『信仰の醍醐味』という2つの御教えは明主様が『信仰雑話』という御神書の中にお説き下さつた御教えでございます。『信仰雑話』という御神書は私共にとりまして

春風に吹かれる如く

魂の奥底に誠の心
本当に燃えるが如き
信仰を内に秘めて

1面からの続き

り方をここで明主様はお説き下さっているわけだと思えます。

よく世間では如何にも、何か宗教的というか、色々な神憑り式とか、おかしいものが色々ありますけれども、そういうのは本当の意味の信仰ではないわけでごさいます。それで満足しておられる方はそれで良いかもしれませんが、それが本当の意味の信仰ではないわけでごさいます。また、自分達だけが救われたら良いとか、自分達だけというように在り方ではないわけでごさいます。神様は世界の全てのの人々を救おうとして下さっているわけでありまして、全ての人々の幸せを神様は望んでおられるわけでありまして、その神様を心としていなければいけないわけでごさいます。ただ自分だけの幸せを願うようでは本当の信仰ではないということを仰っておられるわけでありまして。

それから一歩一歩完全に近づいていく努力が大切だということでごさいます。これは他の御教えでも明主様は仰っておられるわけでありましてけれども、大変私共にとって大切なことでもあります。しかも、その信仰が本当に身に付いた時には、何を信仰しているか判らない位になるのが本当だということでごさいます。ただ、ここで注意しなくてはならないのは、信仰がなければ、これは初めから何を信仰している

世の中の悪・不正に対して
憤りを感じる人間になる
常にその気持ちを持って

か判らないわけでありまして。そうではなくて本当に魂の奥底には誠の気持ち、多くの人々の幸せのために役立たせていただきたいという、そういう本心に燃えるが如き信仰を内に秘めて、しかも、表面的には何を信仰しているか判らないというようではいけないわけでごさいます。そして、非常に親切で、誰とでも接していかれるというのが本当だということを仰っておられるわけだと思えます。それから、

この『春風に吹かれる如く』というところ、ただ表面であつてはいけないわけでごさいます。内面が何もしないで、のんびりしているということでは決していないわけでごさいます。

明主様御自身は、実際に、内には本当に世界の人々を一日も早く救ってあげようというお気持ちを常にお持ちであつたわけでありまして。それから悪に対する憤りという点では、明主様は別のところで、人間はこの世の中の悪に対して、不正に対して、本当に憤りを感じるような人間でなければいけないと御教え下さっております。けれども、それを表面に直接、現してはいけないということでごさいます。その現し方が大切だということを仰っているわけでありまして。常にそういう気持ちを心に持つていなければいけないということだと思つてございます。これらは、私共にとっては一生の一つの目標でございますけれども、ここに説いて下さったことを私共の終生の目標として進ませていただきたいと思つてわけでありまして。

この常識ということ、世間の常識に間違つていないことがたくさんあるというのを忘れてしまつたことがあるわけでごさいます。ですから、そういう間違つた常識を守つていこうと、明主様がここで仰っているわけではないわけでありまして。これはもう一つ深い意味では明主様は経と緯とが結ばれるのが理想の在り方であるということ

よく仰られたわけでありましてけれども、そういうことの一つの表れとして、常識ということをおつていられるわけだと思つてございます。

ただ表面的なことになつてしまふと、それこそ世間一般では、子供さんに熱が出たら、最近ではちょっと変わったかもしれませんが、恐らく今まででしたらとにかく熱を冷やすのがある意味では常識みたいなことになっていられるわけでは、この常識は間違つていたわけでありまして。

あるいは作物を作るのに肥料をやらなかつたらできないと思つて、肥料をやらなかつた。けれども、これも決して正しくはなかつたわけでありまして。そういうように、私共が今まで常識と思つていふことで間違つていふことも、たくさんあるわけでありまして。ですから、そういう意味の常識と混同してしまふと、大変間違つてしまふと思つてわけでありまして。明主様はいつもと深い意味で、この常識というものを仰つておられるわけだと思つて。これはまた何回も繰り返して拝読させていただきます。

次の『信仰の醍醐味』も『信仰雑誌』の中の御教えの一節でございます。明主様は、ここで本当の意味の信仰の在り方を仰つていられるわけでありまして。私共神様から常に素晴らしい恵みを日々頂いていられるわけでありましてけれども、その御恵みに心から感謝申し上げ、また

真の信仰とは

日々の御恵みに
感謝の気持ちで
事を持って頂く

その御恵みに少しでもお報いさせていたくように努力させていただかなくてはならないと思つてございます。ここで明主様が一番注意しておられるのは、いわゆる恐怖信仰というのは一番いけないというのを仰つております。これは私などの責任もあるわけでありまして、うっかりすると、何か大変怖いゆえに信仰するとか、どうも自分は地獄へ行つたら困るから信仰するということではいけないわけでごさいます。そんなことをしたら罰があたるんじゃないかという在り方は、本当の信仰ではないわけでごさいます。怖いから改心する、お詫びするというのは本当ではないということ、明主様はいつも仰つておられたわけでありまして。私共は、常に神様から頂いた御恵みに対しての感謝の気持ちを持たせていただくということでありまして。

そして、人事を尽くして天命を待つということでありまして。ただその時に、明主様が、他のところで「果報は寝て待て」ではなくて「浄めて待て」というのが本当であるということをおつておられるわけでありまして。先程の『常識』の御教えにもございましたが、他人を幸せにすることに私共が人間として何時も最善を尽くさせていただくと、それによつて与えられる神の賜が真の幸福であるということを明主様はここで仰つておられるわけでありまして。

常に私共、自分が幸せになりたいというのではなくて、神様から頂いた御恵みに対して、少しでもお報いさせていただこうという気持ちで、この世の中の多くの方々の幸せのために努力させていただく結果、その人が別に求めなくても、神様は素晴らしい御恵み、幸せを与えて下さるわけでごさいます。その幸せが真の幸せであるということでごさいます。ただ目の前にあるもの、幸せを掴むというのは、ただそれだけのことであつて、本当の幸せではないわけでごさいます。

以下3面に続く

2023年

教会記念祭

この転換期に少しでも御用にお使い頂けるように努力させていただきますように」とお話される会長先生



本教は超宗教

精神と物質どちらにも偏らない真の文明世界の在り方に沿った信仰を

会長先生お話し

3月の月例祭並びに教会記念祭は、3月3日午前10時30分より執り行われ、黎明教会を通じて多くの御守護、そして御用のお許しを頂いていることに感謝のお参りをさせて頂きました。天津祝詞を奏上し、御讃歌「黎明」を奉唱させて頂きました。会長先生はご挨拶の冒頭に、「教会発会のお許しを頂いたのが1965年の3月であり、新たな一歩を踏み出させていただきましたのも1970年の3月という事で、毎年3月は月例祭と合わせて教会記念祭の御祭りを執り行わせていただいております」とお話しされました。そして「序文(天国の福音書)の御教えを拝読して下さい、次のようにお話ししました。『この御教えは、まず本教は『純然たる宗教ではない』『超宗教』であるとお説き下さっており、これから御教えにお参り頂くには、精神と物質どちらにも偏らない、超宗教、真の文明世界の在り方に沿っていかないとはいけません。』

明主様の御教えを神様の御教えの言葉として神に謙虚に頂きたい、常に全ての基準とさせて頂いたことが黎明教会信徒にとって本心に大切なことではないかと思っております。また、『長い間眠っていた有神思想を呼び覚ますために奇蹟を見せて下さる、それが私達の頂いている御浄霊の御力になるわけでもあります。世の中の方々への御浄霊が取り次ぎ、また御力の多い私達自身が御浄霊を頂く努力を考えたとき、頂いた後には神様を考えたとき、神様に対して申し訳なさでいっぱいなのではないかと。私達の体内にある毒・毒素は想像ができません、多く、薬毒は生々取り除くことはなく、何十回、何百回御浄霊を頂くことで毒・物象があるとお説き頂いております。繰り返

祝賀会 歴代の会長先生の懐かしいお姿

し御浄霊を頂く、させて頂いた努力がこれからのいよいよ本当に必要なようになってくるのだと思います。この転換期に御用にお使い頂くことに感謝を申し上げ、少しでも御用に御供え頂けるよう努力させて頂いたこととしたいと思います。『祭典終了後、参拝者の皆様は記念品のクリアファイルをお持ちしました。黎明教会資料館所蔵の琳派の芸術品が題材となっており、雲龍図(尾形光琳画)と通世白鶴図(岩屋宗達画の写本)です。』

15時45分より黎明ホールにて祝賀会が催されました。今回はこれまでの御生誕祭についてまとめた映像を見せたいと考えています。信徒全員が一度にお参りさせて頂いた後、お参り頂いたことをはじめ、奉納演奏コーラスや献花、お茶会等、年々にも増え、お参り頂いたことを改めて感謝



歓声と拍手 恒例の抽選会



申し上げました。また、祭典の先達・ご挨拶をされた歴代の会長先生の懐かしいお姿も拝見していただきました。続いて、昨年2022年の御生誕140年祭のメイキング映像を見せたいと、今年も御生誕141年祭もさらに盛大で有意義な御祭りを持たせていただきます。皆様のご様子から当日の感謝、明主様の御生誕を心よりお祝

と喜びが思い起こされ、執り行つたために、各自の役割に専心された方々のご努力も映像に映されていきます。今年も御生誕141年祭もさらに盛大で有意義な御祭りを持たせていただきます。皆様のご様子から当日の感謝、明主様の御生誕を心よりお祝

いさせて頂いたことと存じます。映像の後はおドリンクでの休憩を挟み、毎年恒例の抽選会が行われました。今回は事前に用紙に氏名を書いて希望の景品に投票する形式でした。景品には、贈品セット、ジュース、お茶、器、ドレッシング、お漬物(いずれも無農薬無農薬栽培)や、観音の香炉、コーヒーメーカー、ハンドブレンダー、マイク、ボードゲーム、卓球セット、ぬいぐるみ、お菓子セット等、過去最多の品数を用意しました。当選者の名前が読み上げられ、会場が盛り上がり、歓声と拍手が起りました。写真。最後に全員で黎明教会歌を斉唱していただき、お開きとなりました。



小中学生勉強会・卒業生を送る会



会長先生や桑田多津先生らを囲んで記念撮影する参加者

3クラスに分かれ 信仰の基礎を学ぶ

2023年度最後の小中学生勉強会は3月5日(お祈し)に開かれました。3月は御教えの勉強に引き続き、卒業生を送る会を待たせていただきました。

別館に集合し、午前10時にご参拝の後、学年ごとに分かれ、神様の御教えの勉強をさせていただきました。小学1年生から4年生までは別館講堂にて松村勇輝様より、小学5年生と6年生は別館第二講堂にて桑田多津先生より、そして中学生は別館第三講堂にて会

長先生より、それぞれ御教えを頂きました。御神書を順番に拝読させていただいたり、先生の御書を写したりと、皆さん一生懸命勉強されておられました。この講義の最後には、4月から次の講義場所へ移る小学4年生や6年生が一人ずつ挨拶を述べる一幕もありました。

この講義の後は別館へ移動し、全員で昼食を頂きました。毎月のメニューはカレーライスですが、1月と3月はお子様ランチを頂きます。別館教会のマークの旗が載ったように召し上がっておいれました。

昼食後は別館ホールにて卒業生を送る会が行われました。最初に小中学生勉強会を卒業される中学3年生に記念品が贈られ、会長先生よりお祝いの言葉を賜りました。その後、小中学生を代表して中学3年生の木下羅蘭さんが

送辞を、卒業生を代表して沖田龍輝さんが答辞を述べられました。続いて、卒業生の小中学生勉強会および夏の行事での9年間の思い出をまとめた映像を全員で見せていただきました。また、小学校を卒業された8年生も会長先生より記念品を頂きました。引き続き、御勤王様式が行われました。今年度全11回の勉強会を総括し、早速お出されたい方、一人一人に会長先生より御勤王の賞状を頂きました。

その後、再び別館第三講堂へ移動し、レクリエーションの時間を持たせていただきました。全員で一緒に遊ぶという趣向の後、4チームに分かれてゲームをさせていただきました。1つ目は世話を焼くという小中学生勉強会に、来年度はさらに多くの小中学生が参加の許可を頂きますことをお祈り申し上げます。

(伊吹 博人)

昼食後楽しくレクリエーション



お子様ランチをいただく参加者



▲ クイズ形式などで盛り上がったゲーム ▼



立派な最高学年に



送辞

木下 羅蘭

寒さが残りつつも春の訪れを感じる今日、小中学生勉強会を卒業される中学3年生の皆様にお祝いの言葉を申し上げます。

この8年間、私達は先輩方の背中を見て追いつきたいと思いましたが、先生方の御教えを二階に学ばせていただきました。青年会ですますますの活動をお祈り申し上げます、送辞させていただきます。

感謝の心忘れずに



答辞

沖田 龍輝

梅の花も開き、寒さの中にも春の到来を感じられるようになりました。僕達中学3年生は今日、小中学生勉強会を卒業します。小学1年生から参加のお祈りを頂き、この9年間先生方は

明主様の御教えを大変ありがたうと教えていただきました。いつも優しくお話しして下さった御神書の取次ぎの大切さも学びました。夏は水泳やレクリエーションがとても楽しみで、特に関西サイクル

る会と一緒に遊んだこと、レクリエーションで共に学んだこと、遊んだこと、今は、今では大切な思い出です。そんな先輩方が卒業されるのとても寂しいですが、先輩方と一緒に学んだことを教えていただいたことを話さず、みんなでもこれからは新しいことを学んでいきたいと思っています。

明主様の御教えをしっかりと学んで努力していただく立派な最高学年になれるように努力したいと思っています。

中学3年生の皆様、8年間ありがとうございました。青年会ですますますの活動をお祈り申し上げます、送辞させていただきます。

スポーツセンターや京都鉄道博物館へ行かせていただいたことが心に残っております。お世話の皆様が色々考えて下さり素敵な思い出ができました。ありがとうございました。

新型コロナウイルスやインフルエナが騒がれる中、僕達が安心して過ごさせていたただける感謝を申し上げます。明主様の御教え、御神書の素直に心を込めて一人でも多くの方にお伝えさせていただきます。

明主様、ありがとうございました。先生方、ありがとうございました。いつも優しくお話しして下さった御神書の取次ぎの大切さも学びました。夏は水泳やレクリエーションがとても楽しみで、特に関西サイクル

る会と一緒に遊んだこと、レクリエーションで共に学んだこと、遊んだこと、今は、今では大切な思い出です。そんな先輩方が卒業されるのとても寂しいですが、先輩方と一緒に学んだことを教えていただいたことを話さず、みんなでもこれからは新しいことを学んでいきたいと思っています。

明主様の御教えを大変ありがたうと教えていただきました。いつも優しくお話しして下さった御神書の取次ぎの大切さも学びました。夏は水泳やレクリエーションがとても楽しみで、特に関西サイクル

癌の発覚から1年以上

お蔭ご奉告 小林 実穂

神様の愛の深さに感謝

(三) 4656番地

6月は25日間と今まで一番長い期間ほどと尿が出ま
せてでした。何を口にしても
嘔吐してしまふ日が10日間続
きました。20日間隔になって
眠ることもできず頭がバニッ
クになりました。教会の信者
さん、義理の妹、父が何回度
も御祈り下さい、何か食べられ
るようなもの、飲めるようなもの
を色々届けて下さいまし
な。皆さん、あつぱりな

に落ちこぼれたのは、わたしと
と娘とだけだ。

神様にお任せするしかない、罪のせいでもない、多く、多くの罪を重ねてきたのは自分。神様は私の身体の中にある毒素を浄めて下さるものでして、何でもこれ以上出さないと警告をかけたくない、即ち用のお邪魔をしたくない、人のお役に立たないといけないのにみんなの負担になっていて。それなのに、この世を渡り

でも良いのではないか。余命
通りの命で十分だったのでは

ないか。お任せしようと固
ながら、お任せしきれます、眠
れていない色々と考え精神
的にもかなり落ちています
た。こんな気持ちでいます
に神様はまたお救い下さいま
した。真・闇闇でもう出口が
なと思って、一筋の光が
差し込めるように引き上げて
下さいます。神様の愛の深さ
を知り、お詫の気持ちと感

謝の気持ちはいくらも分るにやうな
ました。

病気が発覚してから一年以上が経ち、私の状態を最初に診察して下さった京大病院の先生に診ていただいたかと聞いて先方に診察所のお医者様も順の進行状態を確認したいと考えておられました。しかし、京大病院は半年を過ぎると当初と同じ扱いになり、検査は2日かかると今の私の体力では無理だということ

のではないかと、遠慮結果を問

「検査で
に
多を確認

結果と本当に見比べて下さったのかと看護師さんに尋ねま

これを
菜食に

に關しては栄養などを余り
へないで、只食ひたいもの

機に
変える

増のお米とお野菜を中心に
事をしていました。父より

食を何題か勧められていたが、なかなか自分の食感に合うことができなかった。

明主様は「結婚を治すべく三ヶ月間絶対菜食で、脂肪へ使はず、薬も廃めて了っ姐、それで完全に治ったのがある。」(文明の創造「菜食抜粋」ともお書き頂いてお

以下B面に続く

入院19日目無事に退院

の国ならぬ

き出してトイレに流したりしていました。鏡を見ると、顔の左側は染んでいて、ヨダレがよく出ましたが、話はずっと相手に伝わるようにしていただけていました。

その後ずっと自己浄霊を置いていたおかげで、左足が大分動くようになり、3階から4階のリハビリ室に行くことも、階段で行けるようになりました。

11月20日、食事がムース状
 になった。それから、お粥が
 柔らかく煮たものに変わ
 り、飲み込みも上手にな
 った。咳込みもなくなっ
 て、咳込むことができな
 くなりました。しかし、血
 圧が下がらないので、薬
 の量が増えましたが、全
 体は楽になりました。

の申込みをしてくれていて、退院の話をするために主治医と話し合いをすることになりました。

歩くのもかなりスムーズになり、私が「とにかく、寒がりな」と主治医に訴えたので、服薬の可能性はあるものの、栄養士から食事に関するレクチャーを受けることが条件に7日に退院することが決まりました。こんなあつさりとは退院ができるなんて、守護に違いないと、

明主様に何度も感謝いたしました。

◆

12月7日、入院して19日目、無事に退院することになりました。入院中、看護師さんには、色々々

明主様の御救いの事をお話させていただきましたが、誰にも御浄霊のお取次ぎができませんでした。ことに後悔しております。

主人が車で迎えに来てくれたので、そのまま教会にお参りさせていただきます。

浄土を頂き、すこし嬉しんで
本当に感謝いたしました。
翌日から毎日教会に連れて
いってもらい、御浄土を頂き
ました。

12日が自まつ月例祭でした
が何とか動く右手を使つて
主人と共に準備をさせていた
だことができました。

食事も、米森士さんに教え
られた柔らかな食事ではな
く、なんでも食べられるよう
になりました。

そして、念願だった御生誕

祭に、車椅子でお参りさせて
いたことができました。
看護婦さん達にかなり危険
な状態と言われ、意識は混濁
し、胃くは寝たままだったな
どを思い出し、ひよとしたな
う、死んでいたがも分らない
ので、こんなに早く退院がな
いので、一人で歩くことがで
きるまで、御守護頂け、こう
して御生誕祭にお参りさせて
いたことができて、嬉し

くて涙が溢れてきました。
藤田恵子嬢が教会の御浄
のお旦那の時に、ご自身が
のように倒れた時のお慰
をして下さり、「御神書拝
をさせていたく時に南を出
してさせていたく時、品
が固りにくいのを良し
たいたく」と教えていた
て、早速、その日から実践
させていたきました。しば
くすると、顔の赤みが少し

すが、立ったままお参拝をせうにだいていました。かし、座ってお参りをさせたいなことができ、なんか一人で立ち上がることができるようになりました。

このように日に日に、良くなっていき、新年祭にも椅子なしで、お参りをさせたいなことができ、1月日の家の月例祭の前日には、理だを思っていたお供えの

出なかりました。明主様、このような大御守牌を頂き、誠にありがとうございます。この御報いさせていたなけう、これから先、一人でもくの方々に御浄霊をさせて、たくお許しが頂けますう、努力させていたなと思ひます。

私を見ては、優しい声やましのお言葉を下さった貴方、本心にありがとうござ

教会の石段を
1人で登れる

御神前でお参りでき
御浄霊を頂き感謝

食事なんでも
食べられるように

御生誕祭に臨む教会で毎日御浄霊を頂きにお参りさせていたなりました。教会に行かせていたなけりようになつた当初は、大變申し訳ないので

て、指導頂きました。会長
生、多田光子様、荒木加代
様、本当にありがとうございました。

(2023年2月10日)

20日間横になって眠れずパニックに

CT検査で
新たに
転移を確認

これを機に
菜食に変える

3か月間植物性のものだけを摂取

以下8面に続く

た、そのうちから「オム」
#6p。 (2002年10月・21日)

えさせていた。いた時にすく
にお取次ぎに行かせていたた

すが、いつかご浄化を乗り越

か、悪い真伝をしているのではないかと悩むこともあろう。

業のお邪魔になっていない

淨靈のお取めきに升んで行は
ないのにお伝えだけして御神

11月26日(木) 午後2時 本会議

多頂私

田の

歌
た
生

恵
お
き

先言る

生葉希

かが望

ら
に

多田歌恵先生から
頂いたお言葉が
私の生きる希望に

多田敬恵先生、何度もご指
導賜り誠にありがとうございます
ました。先生から頂いたお言
葉が私の生きる希望となっ
ております。

多田光史会長先生、多田光
一先生、いつも氣にかけて下
さいありがとうございます。
毎日御浄霊のお取次ぎに來
て下さる教会の皆様、家族に
心より感謝します。ご浄化で
意識が朦朧とする中、目が覚
めるといつも藤田恵子様が
手を願って下さっていまし

病状をSNSで投稿